

ふくい・あいち・ぎふ・みえ 福井の原発からの風向き調査プロジェクト
さよなら原発・ぎふ

岐阜県は福井県に連なる 14 基の原発の「地元」です
地元自治体としての早急な対策を求めます

福島第一原発事故は、立地県のみならず日本中を世界中を放射能汚染の恐怖にさらすこととなりました。そして、放射能汚染とその濃度は風向きと地形が重要な要素であることも学びました。

2012 年 3 月 3 日、福井、愛知、岐阜、三重、滋賀の有志 30 人以上が集まり、関西電力美浜原発のおよそ 2km にある水晶浜海水浴場から 1000 個の風船を飛ばしました。もんじゅ、敦賀原発で万が一事故があった際の、放射線物質がどう拡散するかを想定するためです。

24 年前の 1988 年 3 月 20 日にも岐阜県の有志が同様の調査を行いました。その時拾われた 11 個のうち 7 個が岐阜県内です。今回の調査で最初の風船の発見連絡はわずか 2 時間後です。現時点で 56 地点で風船が発見されていますが、その内 50 地点が岐阜県です。(詳細添付)

この二度の調査で、事故が起これば、県民が甚大な被害を受ける可能性の大きさが改めて確認された事になります。

西濃から東濃にかけての人口密集地に放射性物質が大量に降下拡散し、農地や森林、川などの汚染は長期にわたって生命と生活を根底から脅かすものとなります。

一方、福井県議会では関西電力大飯原発運転再開にむけてストレステスト報告が原子力安全・保安院からなされました。あとは福井県知事とおおい町長の判断だけとなっています。

岐阜県は一年の大半が若狭の風下であり、14 基の原発が運転再開すれば危険に怯えて暮らすこととなります。

県民の生命を守るのは知事の判断に委ねられています。私たちは以下のことを強く要望します。

要 望 事 項

1. 大飯原発運転再開問題について

(1) 国会事故調査委員会の結論を得て、安全対策が完全になされるまで運転再開をしないよう、国に強く働きかけてください。

(2) 仮に運転が再開されるのであれば、原発立地自治体と同等の安全協定を締結してください。

2. 岐阜県も原発立地県に準ずる権限と関与ができるよう、法改正も含めて関係機関に働きかけて下さい。

3. 岐阜県として、福井(若狭湾)の原発を明確に視野に入れ、県民への啓発を含めた原子力防災体制を構築して下さい。

この申し入れに関する問合せ・回答先

さよなら原発・ぎふ 岐阜県本巣郡北方町加茂 185-24 (石井伸弘)

TEL・FAX : 058-323-2534 E-mail : nobuhiro_141@yahoo.co.jp

			個数		
1	揖斐郡	揖斐川町	4	西濃	
2	"	池田町	6		
3	"	大野町	4		
4	不破郡	垂井町	1		
5	安八郡	神戸町	4		
6	養老郡	養老町	1		
7	大垣市		3		23
8	本巣市		3	岐阜	
9	瑞穂市		3		
10	岐阜市		19		
11	各務原市		4		29
12	美濃加茂市		8	中濃	
13	関市		2		
14	可児市		5		
15	可児郡	御嵩町	3		
16	可児郡	八百津町	2		
17	加茂郡	白川町	1		21
18	土岐市		1	東濃	
19	瑞浪市		7		8
20	愛知県	一宮市	2	愛知	
21	"	春日井市	2		
22	"	北名古屋市	1		
23	"	小牧市	1		
24	"	高浜市	1		7
25	滋賀県	長浜市	1	滋賀	
26	"	米原市	2		3
27	長野県	下伊那郡阿南町	2	長野	
28	長野県	飯田市	1		3
29	静岡県	富士宮市	2	静岡	
30	"	富士市	1		4
31	"	静岡市	1		
			98	98	